

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	マザーズハウスきずな2nd		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 10日		2025年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日		2025年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	セラピストがいることで、集団療育や個別対応での取り組みに 対して充実している	話し合いや情報共有、共通理解を図るために会議や申し送り等 に参加してもらい、職員間での支援方法を統一している	研修を自主的に受け、職員のスキルアップを目指していく
2	事業所の中でも二階で集団遊びを行える空間があり、近くにあ る地域の公園で遊ぶ中で、楽しいと思いながら療育を受けられ る	地域の公園等、こどもが自主的に遊びながら療育が出来るよう に環境を整えている	集団遊び(集団療育)や個別の取り組みの活動に合わせ、棚 や収納場所の配置等、環境を変化させていく
3	保護者との情報共有や相談時の対応力	日頃から、保護者とに連絡を密にしている	事業所内で感じた子どもの様子の変化等を見逃さず、保護者 に伝える事で関係を作り、保護者からも子どもの様子等を聞 き取れる関係性を作っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない	日々の療育に真剣に向き合い過ぎている	地域と交流をしたいが、どうい交流が良いのか、まずは事 業所で話し合い、その結果を持って地域と交流できるのか相 談していく
2	事業所を外部にアピールできていない	各種マニュアル等があるが、マニュアルや研修、訓練等を行っ ていることのアピールができていない	SNSへの投稿意識を増やし、沢山の職員が順番で発信できる ように工夫していく
3	保護者同士での交流が少ない	親会として行っていたが、保護者から、どうい風な交流をし てほしいのか把握できていない	保護者に、どうい風な交流会を行ってほしいのかアンケー トをとり、実際に色々な方法や形で開催をしていく